

## 資料1 学校いじめ防止プログラム

いじめの未然防止や早期発見のために、学校全体で組織的、計画的に取り組むために、年度当初に組織体制を整えると同時に、年間の計画を立てて、学校全体でいじめの問題に取り組めます。

	項 目	時 期
いじめ防止のための活動の措置	○ 異学年交流(フレンドリータイム)の実施	6月、11月、2月
	○ 学級活動での話し合い活動の実施	毎月1回
	○ 縦割り清掃活動の実施	通年
	○ ボランティア活動の推進	通年
	○ 児童会による相談箱の設置	通年
	○ 特別活動等における児童生徒同士の相談活動の推進	通年
	○ 児童集会の実施	10月、3月
	○ 児童会による運動会・お別れ遠足等学校行事の企画提示	7月上中旬、1月中旬
	○ 一人一人の実態に応じたわかる授業の展開	通年
	○ 職員相互の授業研究会の実施	通年(研究部の計画)
	○ 教育相談週間(旬間)の設定	通年
	○ 教科、道徳、学級活動等を中心とした道徳教育や情報モラル教育の時間設定	単元計画に基づく
	○ 外部講師による講演会の実施	5・6年生
	○ PTA総会での学校の方針説明	4月
○ 学校だより・生徒指導だより(人権だより)を活用したいじめに関する情報発信	随時	
○ 学校公開(オープンスクール)の実施	5月	
○ 保護者を対象とした研修会の開催	家庭教育学級	
○ 「いのちの教育」週間の実施	7月	

## 資料2 学校におけるいじめ防止等のための職務別ポイント

	項 目	職務別ポイント
いじめの早期発見の措置	○ 授業と授業の合間(休み時間)や昼休み時間等の巡回	学級担任・専科・少人数指導・支援員の観察、情報交換
	○ 児童生徒の発する具体的なサインの作成と共有 ※別紙2、3参照	児童観察
	○ 教育相談週間の設定	全児童対象の個別の教育相談
	○ 学校独自のアンケートの実施	毎月実施・実態把握
	○ 県下一斉のアンケートの実施	12月実施・実態把握
	○ 職員会議での情報の共有	全職員での情報交換
	○ 進級時の情報の確実な引き継ぎ	学期末、年度末の各担任等
	○ 過去のいじめ事例の蓄積	全職員での情報の共有化

※ 計画を作成するに当たっては、教職員の研修や児童生徒への指導、地域や保護者との連携などに留意し、総合的にいじめ対策を推進していきます。

### 資料3 いじめられた児童・いじめた児童に見られるサイン

#### 1 いじめられた児童生徒のサイン

いじめられた児童生徒は自分から言い出せないことが多い。また、いじめは大人の目の届きにくい時間や場所で行われたり、遊びやふざけを装って行われたりする。したがって、複数の教職員が、複数の場面で児童生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場面	サイン
登校時 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。</li> <li>○ 教職員と視線が合わず、うつむいている。</li> <li>○ 体調不良を訴える。</li> <li>○ 提出物を忘れてたり、期限に遅れたりする。</li> <li>○ 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる。</li> </ul>
授業中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健室・トイレに行くようになる。</li> <li>○ 教材等の忘れ物が目立つ。</li> <li>○ 机回りが散乱している。</li> <li>○ 決められた座席と異なる席に着いている。</li> <li>○ 教科書・ノートに汚れがある。</li> <li>○ 教職員や児童生徒の発言などに対して、突然個人名が出される。</li> </ul>
休み時間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 給食にいたづらをされる。</li> <li>○ 給食時にグループを作る際、周囲の机と離されている。</li> <li>○ 用のない場所にいることが多い。</li> <li>○ ふざけ合っているが表情がさえない。</li> <li>○ 衣服の汚れ等がある。</li> <li>○ 一人で清掃している。</li> </ul>
放課後等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。</li> <li>○ 持ち物がなくなったり、持ち物にいたづらされたりする。 (○ 一人でスポーツ少年団の準備、片付けをしている。)</li> </ul>

#### 2 いじめた児童のサイン

いじめた児童がいることに気が付いたら、積極的に児童の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

点検	サイン
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。</li> <li>○ ある児童にだけ、周囲が異常に気を遣っている。</li> <li>○ 教職員が近づくと、不自然に分散したりする。</li> <li>○ 自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の児童がいる。</li> </ul>

## 資料4 教室や家庭でのいじめのサイン

### 1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

点検	サイン
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 嫌なあだ名や中傷する言葉が聞こえる。</li> <li>○ 席替えなどで近くの席になることを嫌がる。</li> <li>○ 何か起こると特定の児童の名前が出る。</li> <li>○ 筆記用具等の貸し借りが多い。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 壁等にいたずら、落書きがある。</li> <li>○ 机や椅子、教材等が乱雑になっている。</li> </ul>

### 2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。児童の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

点検	サイン
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校や友人のことを話さなくなる。</li> <li>○ 友人やクラスの不平・不満を口にするが多くなる。</li> <li>○ 朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。</li> <li>○ 電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ったりする。</li> <li>○ 受信したメールや手紙をこそこそ見たり、電話やSNSにおびえたりする。</li> <li>○ 不審な電話やメール、手紙がある。</li> <li>○ 遊ぶ友達が急に変わる。</li> <li>○ 部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理由のはっきりしない衣服の汚れがある。</li> <li>○ 理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。</li> <li>○ 登校時刻になると体調不良を訴える。</li> <li>○ 食欲不振・不眠を訴える。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習時間が減る。</li> <li>○ 成績が下がる。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。</li> <li>○ 家庭の品物、金銭がなくなる。(仲間の要求に応じるため)</li> <li>○ 大きな額の金銭を欲しがる。(仲間の要求に応じるため)</li> </ul>

資料5 いじめに対する措置（緊急時の組織的対応）

